



Home
ホーム

Symposium
開催概要

Program
プログラム

Application
参加申込

Access
アクセス

—

『GLOBALG.A.P.認証の学習と実践』



～GAPで要求される国際基準をクリアするための実践は～

～GAP（適正農業管理）、FSM（食品安全管理）、QMS（農場組織管理）～

お知らせ Topics

2014-10-17 [プログラムページ](#)を更新いたしました。

2014-07-24 2014年度GAPセミナーの参加受付を開始いたしました。

2014-07-23 2014年度GAPセミナーの開催概要を更新いたしました。
[詳細はこちらから。](#)

開催スケジュール

2014年11月27日(木)12:50～28日（金）15:45
茨城県つくば市竹園2-20-5

文部科学省 [研究交流センター国際会議場](#)

※隣の「つくば国際会議場（エポカルつくば）」とお間違いないよう、お気をつけ下さい。

プログラム

GLOBALG.A.P.認証を知る絶好の機会です。

参加申込

お申込みは、FAXまたは登録フォームにて受付。

ご宿泊は、[つくば観光コンベンション協会](#)をご覧ください。

[詳細はこちらから。](#)

[▲ ページのトップへ戻る](#)

[ホーム](#) [開催概要](#) [プログラム](#) [参加申込](#)

2014年度GAPセミナー事務局

Copyright© 2022 Japan Farmers GAP Association All Rights Reserved.

Home
ホームSymposium
開催概要Program
プログラムApplication
参加申込Access
アクセス—
—

開催概要

名 称	2014年度GAPセミナー
日程	2014年11月27日(木)12:50～28日(金)15:45
開 催 地	茨城県つくば市竹園2-20-5 文部科学省 研究交流センター国際会議場 ※隣の「つくば国際会議場（エポカルつくば）」とお間違いないよう、お気をつけ下さい。
参加費(資料代)	会員：10,000円、一般：15,000円、学生：2,000円 情報交換会参加費：4,000円
定員	170名

2014年度GAPセミナー

主 催	一般社団法人 日本生産者GAP協会
事務局	(一社)日本生産者GAP協会 教育・広報委員会、(株)AGIC事務局
対 象 者	農業普及関係者、農業試験研究者、大学・大学校、農業高校、農業生産者、農業法人、農協、出荷組合、産直団体、農林行政機関、卸売市場、卸売会社、農産加工会社、農産物流通・小売企業、外食企業、消費者、調査・検査・認証機関、研究機関、その他
テーマ	GLOBALG.A.P.認証の学習と実践
ねらい	GLOBALG.A.P.は、世界の多くの地域で普及しデファクト・スタンダードとなりつつある農場認証制度です。近年、日本からヨーロッパやアセアン諸国への農産物輸出を進める中で、取引先からGLOBALG.A.P.認証の取得を要求される事例が増えています。 このような状況に対して、日本の農林水産物および食品の輸出額を2020年までに1兆円規模へ拡大することを政策目標としている農林水産省は、具体的な輸出環境整備の対策として農産物生産地へのGLOBALG.A.P.等の認証取得の支援を掲げています。 また、2020年夏には東京オリンピックの開催が決定していますが、2012年のロンドンオリンピック以降、「環境保全と持続可能性」が重要な課題となり、食品調達基準としても国際標準認証の取得が義務付けられることになりました。 一方、日本国内の産地では、GLOBALG.A.P.認証への対応が遅れています。輸出を考えている産地、及び国内の一層のグローバル化に対応しようとする産地、そして、それらを支援する指導機関や関連するあらゆる企業・団体等は、GLOBALG.A.P.を取り巻く状況を理解し、GLOBALG.A.P.認証への対応や指導の方法を身に付けることが重要です。 本セミナーでは、食品安全の国際標準およびGLOBALG.A.P.認証の専門家らの講演と、GLOBALG.A.P.認証を取得した産地の事例発表を通して、GLOBALG.A.P.認証の基本と実践への理解を深めます。また、GLOBALG.A.P.認証取得の基礎となっているGAP教育・評価システム「グリーンハーベスター（GH）評価制度」について学ぶことで、「GAPの意義や意味」、「リスク低減の方法」等に関する理解を深めます。
内容	1. GAP認証における世界の現状とGLOBALG.A.P.認証 2. 各地域における『GAP規範』の意味とGAP認証の目的 3. GLOBALG.A.P.実践の意味とアセアンにおける現状 4. 日本の輸出農産物におけるGLOBALG.A.P.実践 5. GLOBALG.A.P.認証取得とGH（Green Harvester）評価制度 パネルディスカッション ～体系的・総合的なGLOBALG.A.P.習得のための学習と実践～


 Home
ホーム

 Symposium
開催概要

 Program
プログラム

 Application
参加申込

 Access
アクセス

 —
—

2014年度GAPセミナー プログラム

プログラム

▶ 11月27日

▶ 11月28日

プログラム：11月27日(木)

11:30～ 13:00	受付	
13:00～ 13:05	開会	(総合司会：石谷孝佑 日本生産者GAP協会 常務理事)
13:05～ 13:15	開会挨拶 「農業のグローバル化」(仮題)	二宮正士 日本生産者GAP協会 常務理事 東京大学大教授・生態調和農学機構副機構長
13:15～ 13:45	講演 「我が国における農業生産工程管理(GAP)の取組及び推進施策」(仮題)	柳 浩行 農林水産省生産局技術普及課課長
13:45～ 14:45	講演 「GFSIの動向と国際認証」	今城 敏 GFSI日本ローカル・グループ GFSIガイドラインドキュメント・ワーキンググループメンバー 花王株式会社品質保証本部
14:45～ 15:00	休憩	
15:00～ 16:00	講演 「GFSIとGLOBALG.A.P.認証」	今瀧博文 GLOBALG.A.P.協議会 事務局 長 技術士(農業部門)
16:00～ 17:00	講演 「日本をめぐる農業情勢の変化とGLOBALG.A.P.実践の意味」 ～GLOBALG.A.P.の普及に貢献するGH 評価制度～	田上隆一 日本生産者GAP協会理事長 農業情報学会副会長
17:30～ 19:30	情報交換会	

プログラム：11月28日(金)

9:15～ 9:30	受付	
9:30～ 10:10	講演 「持続可能な農業とGAPおよび農場評価制度」	田上隆一 日本生産者GAP協会理事長
10:10～ 10:50	講演 「産地におけるGLOBALG.A.P.認証への取組みの手順」	田上隆多 日本生産者GAP協会理事・事務局 長 株式会社AGIC GAP普及部長
10:50～ 11:10	休憩	
11:10～ 11:35	事例 「農産物輸出に伴うGLOBALG.A.P.認証への取組み」	山本紘之 袋井市農政課農業振興係
11:35～ 12:00	事例 「国内ブランド作りに向けたGLOBALG.A.P.認証への取組み」	河合克行 株式会社アスク代表取締役社長
12:00～ 13:00	昼休憩	

13:00～ 13:40	事例 「審査員から見たGLOBALG.A.Pの取組 みのポイント」	大竹章夫 GLOBALG.A.P.監査官
13:40～ 14:00	休憩	
14:00～ 15:40	パネルディスカッション	講演者4名 司会：山田正美 日本生産者 GAP協会常務理事
15:40	閉会	

[▲ ページのトップへ戻る](#)

※内容につきましては、変更になる場合もございますので、その旨ご容赦下さい。

※講演内容、時間は進行上の都合により変更になる場合もございます。あらかじめご了承ください。（敬称略）

[ホーム](#) [開催概要](#) [プログラム](#) [参加申込](#)

2014年度GAPセミナー事務局

Copyright© 2022 Japan Farmers GAP Association All Rights Reserved.